

# 自己評価結果公表シート（平成31年度）

学校法人育保学園 バンビーニくまのだ

## 1. 本園の教育・保育理念

「一人ひとり」の個性が輝く毎日を送る事ができるような環境を整え、様々な経験と遊びを通じて健全な心身の発達を助長し、情操豊かな子どもの育成を目指す。

## 2. 本園の教育・保育のねらい

- ・自ら考え、行動する力を育てる。
- ・人を思いやる気持ちを育てる。
- ・集団生活を通して、規範意識を持つ力を育てる。
- ・新しいものを生みだそうとする力を育てる。

## 3. 本年度重点的に取り組む目標・計画

- ・保育者の資質の向上
- ・保育環境の充実
- ・安全管理の見直し

## 4. 評価項目の達成及び、取り組み状況

評価項目	取り組み状況・結果
○保育者の資質の向上 ・保育内容・ねらい等を伝え合い、共通意識を持って子どもに関わる。  ・自己評価に基づく課題を踏まえ、職員それぞれの専門性を高める ・計画的に研修に参加する	・職員会議の際に、各クラスで出している遊びの内容やねらい・環境構成に対する思い等を伝え合う機会を設けた事で、全職員が共通のねらいを意識して子ども達に関わる事ができた。 ・日々の子どもの姿やねらいについても、意見を出し合い、より深く話し合う事ができるように毎週話し合いの曜日を決めていきたい。 ・合同保育や土曜日の保育に関しては、職員会議等で改善点を出し合ったり、毎週土曜日の保育内容を表に記入し、伝え合ったりする事で、危険に感じた事等もすぐに職員間で共有したり、継続して遊びの環境を整えたりする事ができている。 ・「教育・保育環境ガイドライン」を活用する事により、様々な視点から自園の保育を見つめ直すきっかけができた為、今後も継続して活用していきたい。 ・年間の研修予定表を元に早めに予定を立てていく事で計画的に研修に参加できる事が増えたが、研修内容に偏りがある為、職員一人ひとりが様々な分野の研修に目を向け参加できるようにしていきたい。
○保育環境の充実 ・子ども達の興味に応じた環境を整える。  ・身近な自然や生き物に触れる機会を持つ。	・戸外遊びの子ども達の様子を毎日職員間で伝え合う時間を作った事で、子ども達の姿を共有する事ができた。また、環境の準備もその都度担当を決める事ですぐに整える事ができた為、引き続き定期的に環境の見直しを行い、より良い環境を整えられるよう工夫していきたい。 ・クラス内で年間を通して小さな生き物を飼育した事で、身近な生き物への接し方を考える事ができた。
○安全管理の見直し ・園内外の危険箇所の共有	・再度園外の危険箇所や道筋の確認を行う事で全職員が危険箇所を把握すると共に、関連機関と連携を取り、必要に応じて危険箇所の改善をする事で、安全に園外活動を行えるようにした。

## 5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
・保育者の資質向上  ・保育環境の充実  ・感染症対策	・子ども達の育ちや学び、課題等、日々の子ども達の姿から職員一人ひとりの気付きを伝え合う事で、子どもへの理解を深める。 ・自己チェックリストやガイドライン等から自己や自園を振り返り、課題を見つけられるようにする。 ・いろいろな分野の研修に目を向け、積極的に参加できるようにする。  ・子どもの発達や遊ぶ様子を見ながら環境を変え、継続的に遊び込めるようにする。 ・子ども達の興味や関心に応じた環境を整える事で、自ら遊びを選び、主体的に活動できるようにする。 ・毎日の遊びの中で自然に体を動かし、継続して様々な運動遊びができるような環境を整える。  ・新型コロナウイルス感染防止の観点から、施設や玩具の消毒、換気を行う。